

みんなの笑顔がすぐそばにあるまち おおた
～ the City Full of Smiles ～

OTACITY

第3次太田市
総合計画 2025▶2032
概要版



太田市

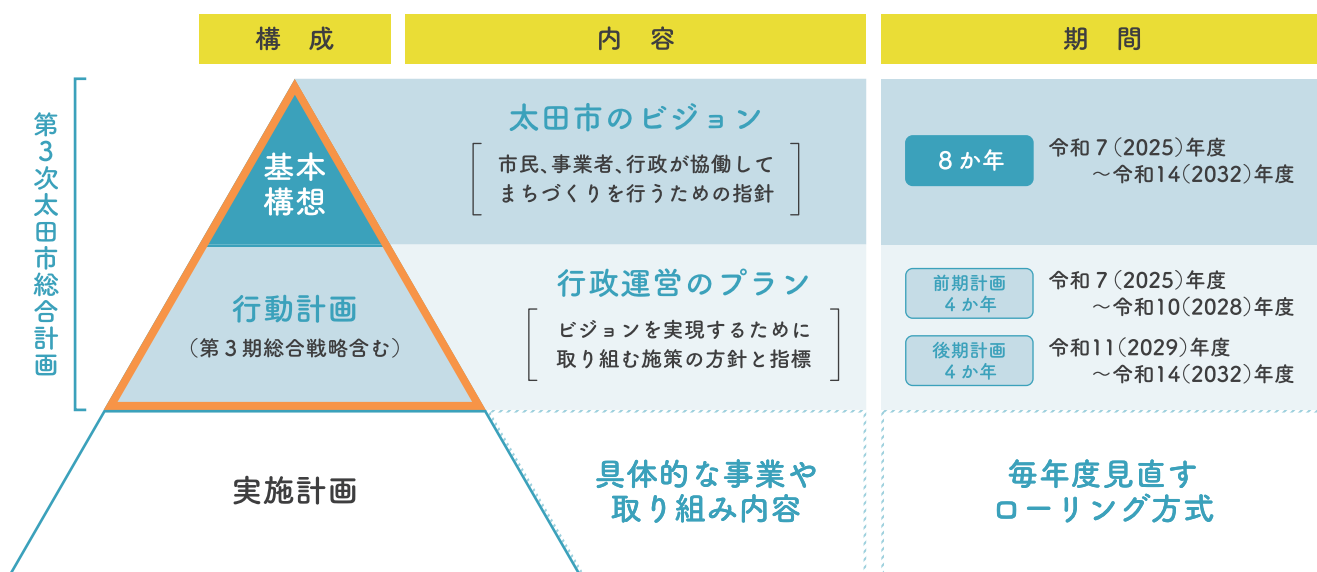
総合計画とは

総合計画とは、まちづくりのビジョンを示した指針です。

本市では、「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」を将来都市像とする「第2次太田市総合計画（平成29年度～令和6年度）」を策定し、まちづくりに取り組んできました。しかし、この間にも、少子化・高齢化に伴う人口減少や、自然災害の頻発化、新たな感染症の拡大など、行政を取り巻く環境は大きく変化してきています。

そこで、本市の中長期的な未来を見据えつつ、時代の変化や様々な行政課題に対応し持続可能なまちづくりを進めるため、令和7年度を初年度とする新たな「第3次太田市総合計画」を策定します。

計画の構成と期間



将来都市像

みんなの笑顔がすぐそばにあるまち おおた

子どものにぎやかな声が飛び交い、日常の中に笑顔が満ちあふれ、いつまでも安心して暮らせるまちを目指します。

年齢や障がいの有無、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを思いやり、いきいきと輝けるまちを目指します。

社会の変化に対応しながらチャレンジングに発展する、市民が愛着と誇りを持てるまちを目指します。



基本目標と施策分野

(1)豊かな心を育む(学びとスポーツ・芸術)

次代を担う子どもたちの教育に、家庭や地域、学校が一体となって取り組み、豊かな人間性や社会性、生きる力を育むとともに、未来を切り拓く力を備えた人材の育成に努めます。また、スポーツや芸術、文化活動等の振興を通して、年齢を問わず誰もが学び続けることができる環境づくりを推進します。

施策分野 > 義務教育 高校教育 青少年育成 スポーツ 生涯学習 芸術文化 IT教育

(2)健やかに暮らす(福祉と健康)

地域共生社会の実現に向け、個人、家庭、地域、行政がそれぞれ担うべき役割を明確にするとともに、一丸となって様々な課題解決に取り組んでいくための体制づくり・仕組みづくりを進めます。また、子どもや子育て世帯、高齢者や障がい者等、すべての市民が健やかな暮らしを営むことができるよう、支援体制・環境の整備に努めます。

施策分野 > 高齢者福祉 障がい者福祉 地域福祉 子ども・子育て 健康・医療

(3)にぎわいを生む(産業と観光)

地域経済の活性化のため、活力ある産業(工業・商業・農業)を育てるとともに、企業誘致や女性の起業支援、障がい者の雇用促進等を図ることで、多くの人々が働ける環境の整備に努めます。また、商店街の活性化や地域観光資源を活かした交流人口の拡大により、にぎわいを創出します。

施策分野 > 工業 商業 農業 観光

(4)安全・安心な暮らし(防災防犯)

気候変動等に伴う予測困難な自然災害の発生が危惧される中で、防災・減災対策、消防体制の強化等を進めるとともに、生活に直結する防犯・交通安全対策等の取り組みを推進し、すべての市民の安全・安心な暮らしの実現に努めます。

施策分野 > 防災 消防・救急 防犯体制 消費者保護 交通安全

(5)便利な暮らし(都市基盤)

効率的かつ合理的な道路・交通網の整備を進め、市民の利便性や安全性の向上だけでなく、新たなまちの魅力や価値の創出、地域の発展に努めます。

施策分野 > 道路網 交通 土地利用

(6)快適な暮らし(住環境と自然)

市民が愛着を持ち、住み続けたいと思う生活基盤の整備を進めるとともに、持続可能な環境共生のまちづくりを推進し、すべての人にやさしい快適な生活環境の整備に努めます。

施策分野 > 景観 公園・緑地 住環境 雨水排水路・下水道 エネルギー・自然環境

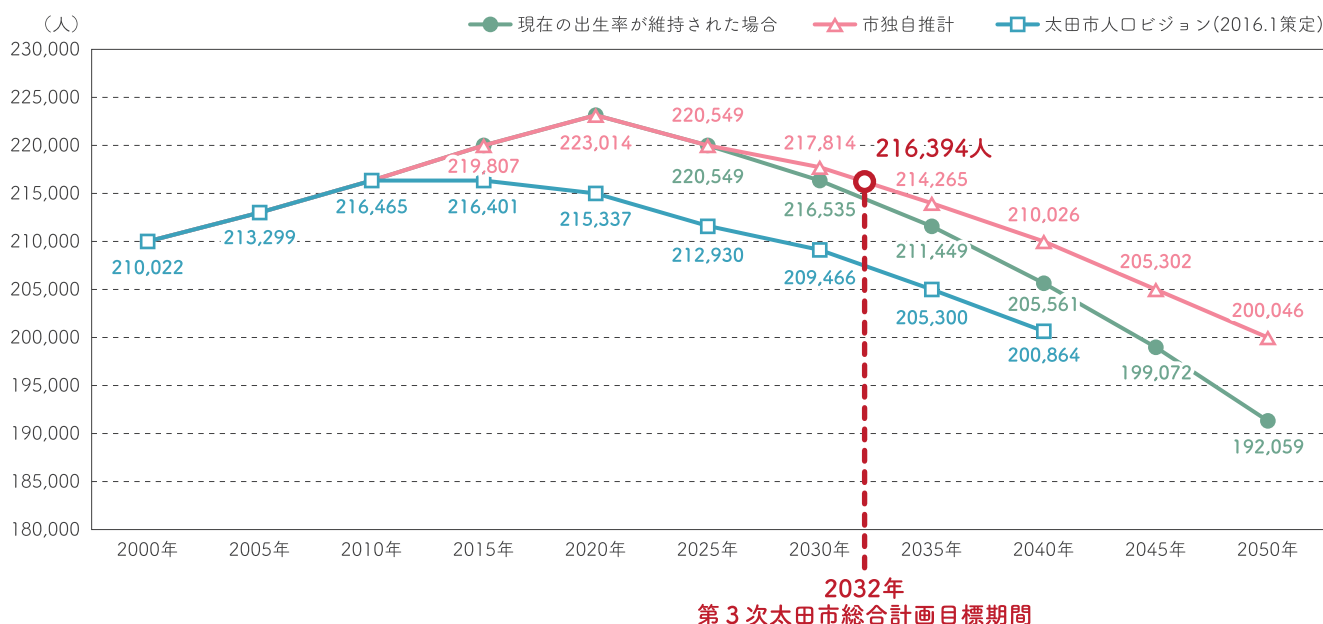
(7)みんなで支え合う(参画と行政運営)

性別や国籍等にかかわらず、誰もが互いを認め合い、持てる能力を発揮することができる地域社会の形成に向けて、多様性への理解促進と意識啓発等を推進します。また、持続可能な行財政運営の確立、地域コミュニティの育成を進めるとともに、市民と行政が協働でまちづくりを行うための風土づくりに取り組みます。

施策分野 > 住民活動・協働 広報・広聴 関係人口 多文化共生 人権・男女共同参画 行政経営

人口ビジョン

「2050年での人口20万人の維持」を目標とし、人口減少抑制のための各種取り組みとともに、今後の人口減少を踏まえた総合的なまちづくりを推進します。



総合戦略

人口ビジョンを踏まえたまちづくりを進めていく上で、総合計画の中でも特に重点的に推進していきたい施策を「第3期太田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とし、以下の3項目を重点目標に定め、前期行動計画に内包することで、その取り組みを一体的に推進することとします。

重点目標1 子育てにやさしいまち

数値目標

年少(0～14歳)人口数の減少抑制: $\Delta 10.8\%$ ($\Delta 3,005$ 人)
20歳代・30歳代女性の社会増減数: 50人/年



重点目標2 働きやすいまち

数値目標

市内女性の就業率: 53%
市内創業件数: 203件/年



重点目標3 愛着のある住み続けたいまち

数値目標

働き盛り(20～39歳)人口数の減少抑制: $\Delta 0.1\%$ ($\Delta 45$ 人)
東京圏(東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県)からの転入数: 2,700人/年